



※ は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



串良

大隅に春を呼ぶ 「くしら二十三や市」

1月26日・27日の2日間、串良総合支所周辺の道路900mを歩行者天国にして「くしら二十三や市」が開催されました。江戸時代後期から続く二十三や市は、もともと正月用品の物々交換の場として旧暦の12月23日に始まったとされ、戦後一時途絶えていたのが、昭和27年から再開されました。

市では、植木や花木、刃物、陶器、衣類などが販売され、朝早くから品定めをする多くの買い物客でにぎわいました。また、剣道大会や消防音楽隊パレードのほか、保育園児による踊りやカンパチ解体ショーなども行われ、伝統ある行事を盛り上げました。



吾平

早春の風物詩 「名物あいら木市祭」

1月12日・13日の2日間、吾平町麓の鵜戸神社前から吾平町商店街約300mを歩行者天国にして「名物あいら木市祭」が開催されました。

吾平地区の早春の風物詩として、また、県内で一番早い木市として有名なあいら木市祭は、商店街の活性化と地域振興を目的に毎年行われているもの。

木市祭では、植木や苗木、地元加工グループの手作り加工品など地元商店街や市内外から約100店舗が出店。また、吾平の伝統芸能そばきり踊りや、歌謡ショー、お楽しみ抽選会なども行われ、市内外から訪れた多くの買い物客でにぎわいました。



鹿屋

打馬商工同友会が 設立20周年を迎える

1月25日、市内のホテルで「打馬商工同友会」の設立20周年記念祝賀会が開催されました。同会は、地域の発展に貢献したいとの思いから発足し、地域の夏祭りの復活や国道504号線の街路灯整備などに取り組んできました。

当日は、来賓・会員合わせて46人が参加し、これからの地域活性化に取り組むことを確認しました。



拉致問題を考える

1月23日、リナシティかのやで「拉致被害者家族講演会と映画上映会」が開催されました。

拉致被害者市川修一さんの兄である市川健一さんが「家族の絆」と題して講演会を行ったほか、ドキュメンタリー映画「めぐみ」の上映も行われ、会場では「拉致問題を風化させてはならない」「一緒に声を届けましょう」などと力強い声援が送られていました。



全国で鹿屋を売り込む!!

1月16日から2月12日まで、(株)柿安本店の「鹿児島うまかもんフェア」が全国300店舗で開催され、大隅半島・鹿屋をテーマに地域の食材を活用した惣菜、料理の販売が行われました。また、初日には、都内百貨店において、鹿屋農業高等学校生による同校が生産した黒豚を用いて開発されたコラボ弁当の販売や、精肉の販売体験も行われました。